

「第2期三次市子ども・子育て支援事業計画(案)」に関するご意見とご意見に対する三次市の考え方

令和2年1月29日

部署名:子育て・女性支援部子育て支援課

「第2期三次市子ども・子育て支援事業計画(案)」について、令和元年12月24日から令和2年1月24日まで、三次市ホームページ等を通じてご意見を募集したところ、3通(延べ6件)のご意見いただきました。

お寄せいただいたご意見と、ご意見に対する三次市の考え方について、次のとおり取りまとめましたので、報告いたします。

ご意見をお寄せいただいた皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

番号	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
1	多子世帯への優遇がもっと充実していれば、子どもを3人、4人と産む人が増えるのではないか。	1件	本市では、保育利用料の補助や放課後児童クラブ保護者負担金の半額措置など多子世帯に対する負担軽減制度があります。主要施策「子育てにかかる負担の軽減対策」にあるように、これら制度を継続して実施していくよう考えています。
2	アレルギー、アトピー、喘息の子が増えているので、なぜ増えているのか、どうしていけばよいかという対策等についての講演会や、母親たちがもっとお互いの事を話せる場があればいい。	1件	地域子育て支援センター等を活用し、学習と交流の場を設けるなど、主要施策「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」の中で取組を進めていきます。
3	食の質が低下してきている日本で、食品添加物や遺伝子組み換え食品についてもっと正しい知識を持ってもらえるように、子どもに指導していくことはもちろん、親への指導も大切である。 食は生きる源であり、毎日の食事が何年、何十年後にどう影響していくか、特に成長期の子どもたちの食事がどれほど大切か、それを補う学校給食の大切さを分かってもらうように、市からのアプローチもとても大切だと思う。	1件	ご意見を反映させていただき、主要施策「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」の末尾に、「成長段階に応じた適切な食の提供や食への関心を高める取組等、子どもの心身の健康づくりにつなげていきます。特に乳幼児期からの適切な食習慣づくりを進めます。」を追加し、食育の取組を進めていきます。
4	学校給食における地産地消を推進するため、学校と農家が協議できる	1件	今回のパブリックコメントでは、第2期三次市子ども・子育て支援事業計画(案)を対象

番号	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
	場を構築してほしい。また、CSA (Community Supported Agriculture、地域支援型農業)という、消費者が生産者に代金を前払いし、定期的に農作物を受け取る契約の導入を検討してほしい。		としています。ご意見として承ります。
5	市内に小児科、耳鼻科及び皮膚科が少ない。特に、小児科がもう1か所あったほうがよい。子育てしやすいまちをアピールするのであれば、重要なことだと思う。	1件	今回のパブリックコメントでは、第2期三次市子ども・子育て支援事業計画(案)を対象としています。ご意見として承ります。
6	給食センター化に反対する。中学校に給食は必要ないとも考える。4,000食という規模で、今よりおいしくて温かい給食が提供できるのか。老朽化に伴う建て替えであれば、前から分かっていたことであり、子どもや保護者を置き去りにしてすすめないでほしい。給食が冷たい、おいしくないという施設ではもったいない。もっと三次の子どもと保護者に寄り添った施設を作ってほしい。	1件	今回のパブリックコメントでは、第2期三次市子ども・子育て支援事業計画(案)を対象としています。ご意見として承ります。